

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場会社名 新京成電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9014 URL <http://www.shinkeisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 遼一

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計資金担当兼グループ  
会計担当課長 (氏名) 内藤 智喜

TEL 047-389-1124

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	9,995	△2.6	1,685	10.3	1,533	10.8	929	26.0
21年3月期第2四半期	10,266	—	1,527	—	1,384	—	738	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	16.91	—
21年3月期第2四半期	13.42	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	61,722	23,464	38.0	426.57
21年3月期	62,587	22,441	35.9	407.93

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 23,464百万円 21年3月期 22,441百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
22年3月期	—	2.50			
22年3月期 (予想)			—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,836	△1.6	2,386	2.1	2,177	△1.9	1,373	0.8	24.97

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 55,116,142株 21年3月期 55,116,142株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 108,092株 21年3月期 103,701株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 55,009,708株 21年3月期第2四半期 55,030,111株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月11日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費が低迷するとともに民間設備投資の減少や雇用情勢の急速な悪化など、景気は依然として低調なまま推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）では安全管理体制のさらなる充実、コンプライアンス及びリスク管理の徹底に注力しつつ、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに経営基盤の強化並びに効率化に努めました。さらに、お客様第一主義による「BMK（ベストマナー向上）推進運動」に継続して取り組み、より良質なサービスを提供すべく精励しております。

その結果、営業収益は9,995百万円（前年同期比2.6%減 271百万円）、営業利益は1,685百万円（前年同期比10.3%増 157百万円）、経常利益は1,533百万円（前年同期比10.8%増 148百万円）、四半期（累計）純利益は929百万円（前年同期比26.0%増 191百万円）となりました。

これを事業の種類別セグメントごとに示すと次のとおりであります。

#### 運輸業

鉄道事業では、鎌ヶ谷大仏駅のエレベーター・多機能トイレ設置工事に着手するなど、諸施設のバリアフリー化に積極的に取り組みました。

安全輸送確保の取り組みといたしましては、電力供給の安定性向上及び踏切事故防止を図るため諸施設の改良・更新工事を行いました。また、お客様がホームから転落した際の安全対策として引き続き「非常通報ボタン」を設置いたしました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、引き続き完成に向けて工事をすすめております。

営業面につきましては、沿線健康ハイキング及びスタンプラリーを実施いたしましたのをはじめ、行楽施設の前売券発売等を行い旅客誘致並びに増収対策に努めました。

バス事業の一般乗合輸送につきましては、高齢者や車椅子を使用されるお客様に配慮し、大型ワンステップバス7両を代替いたしました。このほか、松戸新京成バス株式会社の小金原団地線において利便性の向上及び効率的な輸送を図るためダイヤ改正を実施いたしました。

営業面につきましては、旅客誘致並びに増収に向けた継続施策として、特殊割引定期券を各種発売いたしました。また、船橋新京成バス株式会社の新鎌ヶ谷線については、今後とも収支改善の期待ができないことから9月30日をもって廃止いたしました。

特定輸送につきましては、船橋新京成バス株式会社が新たに企業の従業員輸送を受注し、安定収入の確保に努めました。

以上の結果、営業収益は7,962百万円（前年同期比1.6%減 129百万円）となりましたものの動力費、燃料費等が減少したこともあり、営業利益は918百万円（前年同期比27.0%増 195百万円）となりました。

#### 不動産業

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の向上に努めました。

また、津田沼12番街ビル「イトーヨーカドー津田沼店」・津田沼14番街ビル「ミーナ津田沼」・常盤平駅北口ビルなど賃貸施設の保全工事を行いました。

以上の結果、営業収益は社有地の売却が減少いたしましたこともあり1,579百万円（前年同期比6.2%減 104百万円）、営業利益は746百万円（前年同期比3.8%減 29百万円）となりました。

#### その他の事業

駅売店業につきましては、店舗の美装化及び飲料自動販売機の「PASMO」対応化等に取り組んで参りましたが、売上の減少傾向に歯止めがかからず、厳しい経営環境の中での営業活動となりました。

以上の結果、営業収益は520百万円（前年同期比7.0%減 39百万円）、営業利益は3百万円（前年同期比71.7%減 8百万円）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、建設仮勘定、投資有価証券の増加等がありましたものの、減価償却による減少等により前連結会計年度末に比べ865百万円（前期比1.4%減）減少し、61,722百万円となりました。

負債は、前受金、長期借入金の増加等がありましたものの、未払金、買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,888百万円（前期比4.7%減）減少し、38,257百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末に比べ1,023百万円（前期比4.6%増）増加し、23,464百万円となりました。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、長期借入れによる収入の増加等があったものの、有形固定資産の取得による支出の増加等があったことにより、前第2四半期連結会計期間末に比べ346百万円（前年同期比 11.0%減）減少し、当第2四半期連結会計期間末は2,800百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,638百万円（前年同期比 7.1%増）となりました。

これは主に仕入債務の減少が478百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益1,533百万円及び減価償却費1,639百万円が計上されたこと等によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,870百万円（前年同期比 35.2%増）となりました。

これは主に工事負担金等受入による収入が1,687百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が4,527百万円と大きかったこと等によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は247百万円（前年同期比 261.8%増）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出が1,413百万円あったものの、長期借入れによる収入が1,800百万円あったこと等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの実績を踏まえ、平成21年5月11日発表の予想数値を変更しております。

営業収益につきましては、運輸業において鉄道及び自動車輸送人員が減少すること等により19,836百万円（前回予想比1.6%減）を見込んでおります。

営業利益につきましては、営業収益の減収があるものの、運輸業において動力費、燃料費等の費用が減少するため、ほぼ前回予想通りの2,386百万円（前回予想比0.1%減）を見込んでおります。

経常利益につきましては、持分法投資損益が増加すること等により2,177百万円（前回予想比0.7%増）、当期純利益につきましては1,373百万円（前回予想比2.2%増）を見込んでおります。

## 4. その他

### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 簡便な会計処理

#### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### （3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,800,593	2,783,947
売掛金	866,632	842,225
商品及び製品	35,455	41,990
分譲土地建物	2,984,241	2,984,241
原材料及び貯蔵品	208,824	198,455
繰延税金資産	308,851	320,984
その他	266,658	467,620
流動資産合計	7,471,258	7,639,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,869,902	22,355,738
機械装置及び運搬具（純額）	5,072,489	5,492,363
土地	9,508,675	9,508,628
建設仮勘定	11,725,056	11,335,565
その他（純額）	1,262,704	1,509,718
有形固定資産合計	49,438,828	50,202,014
無形固定資産		
その他	357,548	407,696
無形固定資産合計	357,548	407,696
投資その他の資産		
投資有価証券	3,947,613	3,595,706
繰延税金資産	114,405	272,510
その他	392,875	470,221
投資その他の資産合計	4,454,894	4,338,437
固定資産合計	54,251,271	54,948,149
資産合計	61,722,529	62,587,613
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	635,960	1,167,293
短期借入金	4,626,890	4,667,670
未払金	568,940	4,390,828
未払法人税等	657,561	508,613
前受金	10,309,316	8,633,877
賞与引当金	456,368	491,663
役員賞与引当金	9,600	22,100
その他	2,464,354	1,973,623
流動負債合計	19,728,993	21,855,669

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	13,540,330	13,112,835
退職給付引当金	2,363,340	2,446,457
その他	2,625,007	2,731,299
<b>固定負債合計</b>	<b>18,528,677</b>	<b>18,290,593</b>
負債合計	38,257,670	40,146,263
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,574	4,774,574
利益剰余金	11,592,868	10,800,452
自己株式	△41,077	△39,579
<b>株主資本合計</b>	<b>22,262,305</b>	<b>21,471,387</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>1,202,553</b>	<b>969,962</b>
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>1,202,553</b>	<b>969,962</b>
<b>純資産合計</b>	<b>23,464,858</b>	<b>22,441,350</b>
負債純資産合計	61,722,529	62,587,613

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収益	10,266,997	9,995,745
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	8,109,838	7,693,649
販売費及び一般管理費	629,279	616,974
営業費合計	8,739,118	8,310,623
営業利益	1,527,879	1,685,122
営業外収益		
受取利息	2,947	618
受取配当金	37,616	35,591
持分法による投資利益	—	9,326
その他	35,893	15,786
営業外収益合計	76,457	61,323
営業外費用		
支払利息	211,756	205,362
持分法による投資損失	3,701	—
その他	4,688	7,913
営業外費用合計	220,146	213,276
経常利益	1,384,189	1,533,169
税金等調整前四半期純利益	1,384,189	1,533,169
法人税、住民税及び事業税	460,269	590,865
法人税等調整額	185,636	12,357
法人税等合計	645,905	603,222
四半期純利益	738,284	929,947

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,384,189	1,533,169
減価償却費	1,630,200	1,639,673
持分法による投資損益 (△は益)	3,701	△9,326
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,062	△35,294
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,750	△12,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△332,876	△83,117
受取利息及び受取配当金	△40,563	△36,210
支払利息	211,756	205,362
固定資産除却損	22,544	14,980
売上債権の増減額 (△は増加)	56,374	45,680
たな卸資産の増減額 (△は増加)	124,407	△9,242
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	46,273
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△58,510	1,251
前払年金費用の増減額 (△は増加)	67,958	86,218
仕入債務の増減額 (△は減少)	△157,782	△478,509
未払消費税等の増減額 (△は減少)	79,794	211,666
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△18,104	△6,292
その他	20,587	122,490
小計	2,994,990	3,236,272
利息及び配当金の受取額	54,448	57,101
利息の支払額	△215,031	△212,793
法人税等の支払額	△371,153	△441,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,463,253	2,638,949
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,533,269	△4,527,096
有形固定資産の売却による収入	—	4,168
無形固定資産の取得による支出	△70,454	△62,364
投資有価証券の売却による収入	—	27,445
工事負担金等受入による収入	1,472,477	1,687,679
その他	7,820	67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,123,425	△2,870,099
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,500,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,290,485	△1,413,285
自己株式の取得による支出	△4,775	△1,498
自己株式の売却による収入	1,346	—
配当金の支払額	△137,590	△137,192
その他	—	△226
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,495	247,796
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	408,323	16,646
現金及び現金同等物の期首残高	2,738,643	2,783,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,146,966	2,800,593



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	運輸業 (千円)	不動産業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	8,092,042	1,656,600	518,354	10,266,997	—	10,266,997
(2) セグメント間の内部営業収 益又は振替高	288	26,765	41,597	68,651	(68,651)	—
計	8,092,330	1,683,366	559,952	10,335,648	(68,651)	10,266,997
営業利益	723,567	776,564	11,401	1,511,532	(△16,346)	1,527,879

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	運輸業 (千円)	不動産業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収益	7,962,725	1,553,573	479,446	9,995,745	—	9,995,745
(2) セグメント間の内部営業収 益又は振替高	270	25,634	41,325	67,229	(67,229)	—
計	7,962,995	1,579,208	520,771	10,062,975	(67,229)	9,995,745
営業利益	918,820	746,959	3,223	1,669,003	(△16,119)	1,685,122

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。